

10 月 13 日：リスク選好姿勢が強まり、VN 指数は続伸

安値を拾う投資家の買いが増えたことで、木曜日のベトナム市場は上げ幅を広げた。

ホーチミン市場の VN 指数は 2 日続伸となり、1.56% (16.18 ポイント) 高の 1,050.99 ポイントで取引を終えた。同指数は火曜日に 36.28 ポイント下落していたが、水曜日に 28.61 ポイント上昇していた。

騰落別では、引き続き値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回った。一方で売買代金は前日比 22.4%減少し、8 兆 9,000 億ドン (3 億 6,900 万米ドル) となった。

午前の取引で、VN 指数は 0.47 ポイントとわずかに下落していた。しかし底値拾いの買いが広がったことで、VN 指数はその後上昇した。

「大きく下げた後、VN 指数は短期間で回復し始めている。前向きな点は、多くの企業そして大株主が株式取得のための登録を始めていることだ。一方で投資ファンドでは大きな買い入れの兆候が見られる。これは個人投資家の投資心理の改善にプラスに働くだろう」 (サイゴンハノイ証券 (SHS) のデイリーレポート)

「VN 指数は心理的な節目である 1,000 ポイントの強力な下値支持線を維持し、短期的には 1,090~1,110 ポイント付近を試し、徐々に回復するだろう」 (同証券会社)

金融情報サイト vietstock.vn のデータによれば、銀行株は引き続き上昇をけん引した。値上がり寄与度トップ 3 の銘柄にはベトコムバンク (VCB) +3.91%、ベトナム投資開発銀行 (BID) +6.57%、ヴィエティンバンク (CTG) +5.91%が含まれた。

他にもビナミルク (VNM)、ホアファットグループ (HPG)、テクコムバンク (TCB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、MB バンク (MBB) といった大型株が数多く買われ、マーケットを押し上げた。

その一方で、一部の大型株は引き続き売られ、マーケット上昇の重しとなった。マサングループ (MSN) -2.96%は、VN30 指数の中で下げが最も大きかった。

ハノイ市場の HNX 指数も続伸し、0.59% (1.31 ポイント) 高の 224.74 ポイントで取引を終えた。

ハノイ市場の売買高は 3686 万株以上、売買代金は 6,108 億 3,000 万ドンとなった。

外国人投資家は前日にホーチミン、ハノイ両市場でおよそ 1 兆 3,000 億ドンを買い越していたが、本日も引き続き買い越した。買い越し額は、ホーチミン市場で 4,521 億 4,000 万ドン、ハノイ市場で 457 億 7,000 万ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。